

主要施策の概要

平成 22 年度は、第五次愛媛県長期計画 後期実施計画の 5 年目に当たり、計画に掲げる 5 つの基本政策（「躍動えひめ」「共生えひめ」「快適えひめ」「活力えひめ」「交流えひめ」）ごとの『重点目標』を踏まえ、『愛媛の元気創造』に向け、施策・事業の重点化に努めるとともに、地方局予算要求システムにより、地域の実情に応じた効果的・効率的な事業展開を図った。

重点目標 1 愛媛の現在と未来を担う人材の育成

児童生徒の学力及び教職員の資質向上に努めるとともに、学校、地域、家庭、関係機関のネットワークを活かしたいじめ・不登校の未然防止、早期発見・早期対応等に取り組んだほか、愛媛国体に向けた選手育成、地域密着型プロスポーツの振興、優れた文化に接する機会の提供等に努めた。

重点目標 2 助け合い支え合う地域社会の構築

愛と心のネットワークづくりの精神のもと、ボランティア活動の活性化や男女共同参画への理解促進、結婚支援イベント等の実施をしたほか、愛媛大学と連携した地域医療を担う人材の育成や小児救急医療の電話相談を行うなど、地域づくりの推進や医療体制の充実を図った。

重点目標 3 安全・安心で快適な暮らしの実現

バイオ燃料の普及促進、食品関連事業者の自主衛生管理体制の向上に資する県版 H A C C P の推進、大規模災害に備えた危機管理体制の強化、道路、河川、海岸保全施設等の防災対策を実施するなど、日常のさまざまな不安や危険に適切に対処し、安全が確保され安心して生活できる快適な暮らしの実現に努めた。

重点目標 4 再生と創出によるたくましい産業の育成

E V 開発プロジェクトの推進など、本県経済を担う新産業や新規ビジネスの創出に取り組むとともに、農林水産業の担い手確保や経営体の育成・支援、えひめブランド等の販売拡大、観光振興、基金を活用した緊急雇用対策など、県内産業の振興に努めた。

重点目標 5 暮らしと産業を支える基盤の整備

高速道路の延伸や離島航路の維持、上島架橋の整備に取り組むとともに、地上デジタル放送の難視聴対策等を実施し、暮らしと産業を支える交通体系や情報通信基盤の整備に努めた。